

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢たまご 城東古市第二教室		
○保護者評価実施期間	2025年12月8日		2025年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育に必要な専門的な分野で学んだベテラン職員の充実、教育アドバイザー（現役の大学教授、教育学部）による研修により、知識を深め、個々の特性にあわせた専門的な支援ができる。専属医師や看護師による医療的観点の見解や医療指示も受けることができる。	お子さまの成長にあわせた支援、5領域に沿った、楽しく通所できる支援プログラムの作成、職員研修を実施、医療的指示を必要とする際には専属医師に意見を伺う。	ご利用者の様々なニーズや要望に沿える取組を思案します。
2	施設の広さ、設備の充実、安全対策の強化	丁寧な設備の改善、安全点検、AEDの設置など、ワンランク上のレベルの設備、安全を心掛けています。	常時、点検を行ない、必要な設備を備えます。
3	ご利用者の個別のご希望に寄り添うことができる	保護者様と密に連絡、相談を行ない、職員共有や支援の連携を行なっています。すぐに対応できる時は行なっています。	さらなる多様なご希望に添えるように、職員共有や支援の連携を強化していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の特色、取り組みの周知をしていますが、足りていない。	ホームページやブログなどで都度案内しているが、気づいていただけていない。	会報誌、手紙などで更に伝えていく。
2	地域活動との連携（町内会活動など）	町内会活動との連携が取れていない。情報が得れていない。	意識して、情報を得るようにする。
3			

公表

## 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 夢たまご 城東古市第二教室

公表日 2026年 3月 1日

利用児童数 3名 回答数 3名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3					適切なスペースが確保されています。広いスペースを利用し体を使ったプログラムにも取り組んでいます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1	1		1		手厚い支援ができるよう、基準配置人数以上の職員の配置をしています。経験者、資格者を設置し、研修にも参加しスキルアップに努めています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3					建物、室内など各所、バリアフリー化となっております。わかりやすい構造となっております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2				1	生活空間の清掃、消毒は毎日行なっております。空間づくりに関してもロッカー、遊具の配置を考え、ゆったりと過ごせる広さを保つようにしております。
適切な 支援 の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	1				アセスメントを行い、個別支援計画、モニタリング、評価し、ニーズや課題を分析し作成しています。特性に応じた専門性のある支援を行なっています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2	1				公表している支援プログラムと同じ内容で、提供しています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					こどものことを十分理解し、ニーズや課題を分析し、個別支援計画を作成しています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					必要に応じて、ご相談の中で支援内容を設定しています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					児童発達支援計画に沿った支援を行なっています。計画の目標に達成した際や計画内容の変更が必要とある際、変更を行ないます。同じ内容で継続する場合があります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2	1				その日のご利用者様の状況や課題を考慮し、楽しく過ごしていただけるプログラムを計画しています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1			1	個人情報の保護の観点を最優先に重んじ、特別に機会を設けていません。今後、ご要望も承り、検討して参ります。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2	1				ご契約時に重要事項説明書、契約書等のご説明の際に合わせて説明しております。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	1				日々のプログラム活動を中心に利用者様の状況も踏まえ、支援を行なっています。計画を設定し、保護者様の同意を得て行なっています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1			1	必要に応じて、ご相談の中でご提案しています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3					保護者様との連絡を密に取り、今後も共通理解できるようにします。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3					保護者様との連絡を密に取り、今後も共通理解できるようにします。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					今後も保護者様やご利用者様と密にコミュニケーションを取り、丁寧に説明を行ない、共感的に支援して参ります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3					個人情報の保護の観点を最優先に重んじ、特別に機会を設けていません。今後、検討して参ります。夏祭りやハロウィンイベントでは親子、ごきょうだいでのご参加を実施し、保護者様同士やきょうだい同士の交流の場を設け、支援いたしました。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3				保護者様との連絡を密に取り、今後も共通理解できるようにします。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3				保護者様との連絡を密に取り、今後も共通理解できるようにします。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3				自己評価の結果をホームページに掲載しています。また、当事業所ホームページのブログによりお子様や行事の様子などをお知らせさせていただきました。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3				引き続き、個人情報の取扱いに細心の注意を払います。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3				開所当初から各種マニュアルを策定し、訓練を実施しております。ご利用様にご安心頂けますよう、今後も実施致します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3				当事業所は福祉避難場所として指定されており、令和2年2月には避難所備蓄物品を区役所より配置されることとなりました。突然の災害についても対応できる備蓄物品を備えておりますので、ご安心いただけます。 当ビル全体につきましても消防設備、防犯設備の定期点検や助言を専門業者様に行なっていただいております。 また、定期避難訓練（地震、火事、水害）を年2回実施いたしました。 ご利用様にご安心頂ける施設として定期的に訓練を行なって参ります。 ブログや連絡帳にて避難訓練の実施報告を行なっております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3				各種マニュアルやBCPを策定し、安全の確保を十分に行ない、対応して参りました。ご利用様にご安心頂けますよう、今後も実施、周知致します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3				ご契約時に重要事項説明書、契約書等のご説明の際に合わせて説明しております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	2	1			今後も保護者様やご利用者様と密にコミュニケーションを取り、丁寧に説明を行ない、安心感を持っていただき、ご利用しやすい事業所に致します。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2	1			ご利用者様の課題やニーズを考慮しながら楽しみに来て頂けますよう、いろいろな取り組みやケアをさせていただきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	2	1			今後も保護者様と密にご連絡を取り、丁寧に説明を行ない、ご利用しやすい事業所に致します。

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	夢たまご 城東古市第二教室		公表日		2025年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		設置基準の2倍以上のスペースを確保し、適切なスペースが確保されています。広いスペースを利用し体を使ったプログラムにも取り組んでいます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		手厚い支援ができるよう、設置基準配置人数以上の職員配置をしています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		入口以外、室内など各所、バリアフリー化となっております。わかりやすい構造になっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		生活空間の清掃、消毒は毎日行なっております。空間づくりも遊具の設置も行なうとともに、ゆったりと過ごせる広さを保つようしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて、こどもが個別の部屋を使用することが認められる環境になっています。時には事業所間連携を行ない、支援スペースの共有も行なっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		常に行ない、全職員に周知しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		前回の評価表にて得た保護者様のご希望や意向を承り、業務改善に取り組んで参りました。続けてご要望に添えるように思案して取り組んで参ります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティングや個別面談を通じ、職員の意見を反映し、業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在実施していません。検討いたします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修、内部研修を定期的に行ない、スキル向上に努めています。今年度からはさらに現役教授による教育研修を2カ月に一度、法人内で実施し、日々の療育スキル向上の機会を設けました。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		5領域を取り入れた、支援プログラムを適切に作成し、公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		アセスメントを適切に行い、ニーズや課題を分析し個別支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児発管だけの支援計画の作成ではなく、職員ミーティングなどで支援に関わる職員が共通理解の下、こどもの最善の利益を考慮し作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に沿った支援を行なっています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		公的機関や病院等での検査結果やコメントを反映し、支援や相談を行なったり、当事業所の専門職による助言など支援に取り入れて支援計画にも反映する様、行なっています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		支援計画において、こどもの支援に必要なねらいや支援内容、項目を適切に設定し、支援内容を具体的に設定しています。	

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		こどもに沿った活動プログラムの計画をチームミーティングで考えています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		固定化しないようにチームミーティングでアイデアを出し合い、児童に沿った活動プログラムの計画を考えています。季節行事も取り入れて、季節に沿った活動も実施しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		こどもの状況に応じて、複数の活動プログラムを考え、支援計画を作成し、支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に職員間で必ず打ち合わせを行ない、適切な支援ができるよう、支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後、職員間で必ず振り返りを行ない、情報共有をし、次回につなげています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		業務日報、個人記録などを取ることは必須とし、支援検証、改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		保護者様と密に連携を取り、支援計画の見直しの必要性を判断し、適切に見直しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		関わりの深い職員が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関との連携により、支援を行う体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者様の了解を得て、情報共有を行ない相互理解を行なうことがあります。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者様の了解を得て、情報共有を行ない相互理解を行なうことがあります。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		地域の児童発達支援センターとの連携を図る機会を設けていません。今後検討して参ります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		個人情報の保護の観点を最優先に重んじ、特別に機会を設けていません。今後検討して参ります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			保護者様と密にご連絡を取り、課題などの共通理解を持っています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			必要に応じて、ご相談の中でご提案しています。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			ご契約時に丁寧にご説明しております。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点の踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子どもや家族の意向を確認する機会を設け、子どもの最善の利益の優先考慮の観点の踏まえて、手厚い支援計画を作成しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援計画を示し、説明を行なって、保護者様の同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者様と密にご連絡を取り、課題など共通理解を持ち、お悩みの相談を頂いた際には助言、支援を行なっています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		個人情報の保護の観点を最優先に重んじ、特別に機会を設けていません。今後、検討して参ります。 夏祭りやハロウィンイベントでは親子、ごきょうだいでのご参加を実施し、保護者様同士やきょうだい同士の交流の場を設け、支援いたしました。	
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者様からのご相談やお申し入れについて対応体制を整備しています。迅速かつ適切に対応するように努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		当事業所ホームページ上のブログにてお子様の様子や行事の様子などをお知らせさせていただきました。たくさんの方に喜んでいただいております。引き続き、楽しんでいただけます様、発信して参ります。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		引き続き、個人情報の取扱いに細心の注意を払います。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		保護者様と密にご連絡を取り、意思疎通や情報伝達のための配慮をしています。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		個人情報の保護の観点を最優先に重んじ、特別に機会を設けていません。今後検討して参ります。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		開所当初から各種マニュアルを策定しております。また定期訓練を実施しております。ご利用様にご安心頂けますように実施についてお伝え致します。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定し、定期避難訓練を年2回実施しております。実施後は大阪市危機管理室への報告も行なっています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時、確認し、ご利用者様の各種情報を職員共有しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		全ご利用者様に食物アレルギー有無について、伺っています。アレルギーがある際には対応を取っています。当事業所の専属医師にも重ねて確認を取りながら、対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、必要な研修や訓練など十分安全管理された中で支援しています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		ご契約時に丁寧にご説明しております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例を社内ミーティングなどで共有しています。発生した際にもヒヤリハット報告書を作成し、全職員に周知しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止のための研修機会やミーティングなどで職員へ周知しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		やむを得ず、身体拘束を行なうことについては、組織的に決定し、保護者様に事前に十分説明をしています。了解を得た上で、支援計画にも記載します。	